

岩手県で高病原性鳥インフルエンザ の発生が確認されました！（16例目）

概要

- ・農場所在地：岩手県久慈市
- ・飼養状況：肉用鶏（約4.5万羽）
- ・2月11日、死亡羽数の増加の通報から立入検査を実施。
同日、当該鶏について鳥インフルエンザの簡易検査を実施し、
陽性であることが判明。
遺伝子検査の結果、12日高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜
と確認。

鳥インフルエンザウイルスの侵入を防ぐために、

- ☆防鳥ネット等の野生動物侵入防止対策の確認
- ☆人・車両の出入りの厳重管理
- ☆農場周辺、鶏舎周辺の消石灰散布などの消毒の徹底



をお願いします。

また、飼養している家きんの健康状態を毎日観察し、死亡羽数の増加等いつもと違う様子が見られたら、東部家畜保健衛生所まで連絡をお願いします。



集卵ラインの隙間から
ネコが侵入することも！

（農林水産省HP「鳥インフルエンザに関する情報」→）



異常をみつけた場合には直ちに山梨県東部家畜保健衛生所まで
電話・・・055-262-3166 FAX・・・055-262-3108
夜間、土日・休日の連絡は・・・090-5535-8005・090-5544-7868

【参考】 山梨県内で確認されている冬鳥（渡り鳥）

日本で見られる冬鳥の多くは夏の間シベリアで繁殖し、寒い冬を日本や東南アジアなどで過ごします。カモ類などの冬鳥の主要な渡りの経路は①カムチャッカ半島・千島列島経由、②サハリン・北海道経由、③日本海横断、④朝鮮半島経由が考えられています。

